

令和2年度 学校評価

1. 学校関係者評価会議総評（中間評価）

1. 質の高い学生の確保

「質の高い学生の確保」については、少子化の中で質の高い学生を確保することは当該校に限らず困難な状況になっている中で、目標に掲げ取り組んでいることは評価に値する。また、今年度は、公募推薦の導入や一般入学試験を2期制にし、学生募集数の確保に向けて取り組んでおり、応募者が増えることを期待する。

今年度は、COVID-19の影響により、密を避けた学校説明会の開催ということで、人数制限しながら午前と午後に学校説明会を開催し、また病院職員インタビューと病院内の動画を上映し工夫しながら募集活動を行えている。後期も感染防止対策をしながら、入学者確保の努力をお願いしたい。

2. 学校経営基盤の安定化

今年度は、COVID-19感染予防対策のために、予定外の経費増加と思われるが、前期は適切に迅速に対応し教材の整備ができた。後期も遠隔授業ならではの強みを活用しながら学習環境を整えていただきたい。そして、日々の業務の中で経費削減に努め、学生への意識啓発も引き続き行い、経営基盤の安定化に繋げていく努力を継続していただきたい。

3. 教育内容の質の向上

COVID-19の影響で予定していた1年生に対する学習支援などの教育方法の変更を余儀なくされたが、ビデオオンデマンドによる講義を導入し、教員間で学習会を開催して、講義に教員による差が出ないよう教育方法の工夫がなされ実施された。後期も引き続き可能な範囲で教育の機会が得られるよう期待する。

4. 教員の教育力・管理能力の向上

学会参加や研究活動、授業研究と多忙な学習者支援のなかで、積極的に取り組んでいる。また、教育全般を見通した教育実践者、管理者の育成も計画的に行っている。

講習会等の講師を担うことは、自身の日頃の教育を振り返る機会ともなり教育力の向上が期待できる。今後も看護教育界のためにも尽力いただきたい。

5. 学生支援の強化

COVID-19の影響でインターンシップ・病院見学会が中止、学校への登校も最小限の日程となったが、小論文対策や面接試験対策についてはWebを活用して実施し、迅速に対応している。また、必要な学生へは個別対応も行っており、適切に支援できている。後期もWeb活用も検討しながら適切な支援を期待する。学生の自治活動も中止せざるを得ない状況であったが、3学年の繋がりやキャリア発達に重要であるため、感染予防対策をしながら、そして、教員・学生の負担も考慮しながら、活動ができるよう検討していただきたい。ハラスメント対策は、教職員で学習会を実施おり、学生はメールでの対応が可能となり、ハラスメント防止活動を行えている。引き続き教職員、学生ともにハラスメント防止の啓もう活動をお願いしたい。

2. 学校評価結果概要

評価基準 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

評価項目	自己評価	学校関係者評価
I 教育理念・目標 (小項目5項目)	<p>評価3. 6</p> <p>国立病院機構本部（以後、本部）より、中長期的な視点にたった学校評価の基準が示され、効率的・効果的な学校運営方針・活動内容について本部と協議している。</p> <p>現状においては、本校の特徴である①恵まれた実習施設、②看護実践者を育成する特徴ある科目設定などを社会にアピールすることで大学との差別化を図りたい。</p> <p>また、社会入学試験制度を設けていることも社会のニーズである学ぶ機会の拡大について役割を果たしていると考えている。</p> <p>学生には学生の学習指針になるよう具体的で実現可能なものとして文章化し、学生便覧・教育便覧に記述している。</p> <p>学生には入学時新入生オリエンテーション、実習オリエンテーション、就職についてのオリエンテーションなどで必要に応じて説明を行っている。</p> <p>保護者には、入学式、戴帽式、卒業式に保護者会を開催し意見交換を行っている。また3年間と通じて学年担任が保護者からの相談窓口として対応するなど学校と保護者の連絡体制の強化を図っている。</p> <p>なお、今年度はCOVID-19の影響により、入学式・戴帽式での保護者会を開催できていないことから、学生の状況に応じて保護者と連携を図っている。</p>	<p>評価3. 8</p> <p>大学との差別化を図るために恵まれた実習施設と看護実践者育成のための科目設定は重要で、アピールポイントです。そして、卒業時に実践力を備えた人材は即戦力として社会のニーズに応えることができる。</p> <p>COVID-19の影響により学生・保護者へは対面で周知が難しい状況にある。ホームページなどを利用して周知していくことも必要と考えます。</p>
II 学校運営 (小項目8項目)	<p>評価3. 8</p> <p>設置者の指針に沿った組織体制をとり、毎年、設置者および病院運営方針に則って学校の運営方針を定めている。</p> <p>教育活動に関する情報公開は、「高等教育就学支援新制度」の学校要件に見合った情報公開を行っている。</p> <p>業務を集約し、ワーキンググループ活動に変更したことや、HOSPnetの導入により、教職員への連絡等情報提供はメール等を活用するなど、業務の効率化を図っている。</p>	<p>評価3. 8</p> <p>適切に策定されている。</p> <p>情報は適正に公開されている。</p> <p>ネットワークの整備やWEB会議を実施し、業務の効率化が図られている。時間外勤務の削減に向けた意識を持ち続けて、引き続き努力をしていただきたい。</p>
III 教育活動 (小項目16項目)	<p>評価3. 4</p> <p>学校評価プロジェクトチームが活動を開始し、令和2年度学校目標アクションプランに基づき取り組んでいる。また昨年度後期からアクティブラーニングプロジェクトが学習方法を検討している。運営会議、教員会議、実習指導者会議などで随時計画実践報告を行っている。</p> <p>今年度はCOVID-19の影響で、ビデオオンデマンド（以下VOD）による講義を導入した。導入に当たっては教員間でアクティブラーニ</p>	<p>評価3. 8</p> <p>新たな実施方針を策定し教育理念に基づく教育活動を実施している。</p> <p>COVID-19の影響で予定していた教育方法の変更を余儀なくされたが、教育方法の工夫がなされ実施された。</p>

	<p>ング学習会を開催し、VOD 講義に教員による差が出ないよう教員の教育の方向性や教育方法を統一させた。オンライン授業の内容、回数は学生に早期に提示し、方法を説明したことにより学生も現段階では主体的に取り組んでいる。</p>	
IV 学修成果 (小項目 5 項目)	<p>評価 3. 0</p> <p>1 年生に対し基礎看護学実習 I のオリエンテーションとして県内 3 施設 (千葉・千葉東・下志津) 副看護部長より説明を行い、県内施設のイメージ化を図れるようにした。</p> <p>3 年生は国家試験対策を 4 月から実施し、夏期休暇中に強化メンバーにオンデマンドを活用した国家試験対策や担当教員による夏休みの計画や学習方法について個別指導を実施している。</p>	<p>評価 3. 4</p> <p>COVID-19 による影響からオンデマンドや副看護部長からの説明会を急遽実施し、就職率の向上に向けた取り組みが行われている。国家試験合格のための取り組みは行われている。</p>
V 学生支援 (小項目 10 項目)	<p>評価 3. 7</p> <p>キャリア支援プロジェクトチームを中心に進路・就職に関する支援の企画を立案し運営している。取り組み内容としては、初学者教育、進学・就職支援・卒業生支援である。各学年では、就職・進学に対しての面接等を行い、本人の意志を尊重し適正に就職に関して支援が行えるようにしている。今年度は COVID-19 感染予防のため、Web を用いて小論文対策と面接対策の講義を配信し、希望者には個別対応を行い就職試験に臨んだ。第一希望で内定が下りなかった場合は、その都度学生と面談を行っている。8 月末現在、NHO 病院への就職 71.60%、千葉県内就職 83.95%である。</p> <p>例年採用試験の早期実施への対策として、2 年次後期に県内 NHO 病院の説明会と小論文対策の講義を計画している。しかし、今年度は実施困難となることが予想されるため、映像の活用や Web の導入を検討する必要がある。また、看護の実際の体験が少ない時期での就職活動が余儀なくされているため、学生自身が実習で経験した事柄を看護として語る機会、思考をまとめる機会があるとよい。</p>	<p>評価 3. 9</p> <p>適切に進路・就職に関する支援体制は整備されている。</p> <p>新型コロナウイルスにより例年のように就職活動が十分にできないことが予測されるため、2 年生への支援は早めの実施をお願いしたい。</p>
VI 教育環境 (小項目 3 項目)	<p>評価 3. 3</p> <p>図書費、学生関連費の考え方については学習、教育の充実を考慮し、年間計画を立てて購入している。新校舎になり 10 年以上が経ち学校設備に不備が生じてきているが、授業への支障や学生の怪我に繋がらないよう早めに対処すると共に、丁寧に適切に使用するよう学生へも協力を得ている。</p> <p>COVID-19 の感染防止対策として、三密を避けるため 1 教室あたりの人数を半減とした。そのため合同授業が実施できるように、教室間をつないでリモート授業ができるよう、ケーブル、マイク等の整備を行った。また、全教室の講師用 PC、視聴覚室の大型プロジェク</p>	<p>評価 3. 7</p> <p>適切に整備されている。COVID-19 感染防止対策に向けて迅速に対応していただいた。</p> <p>災害発生時の体制は整備されている。学生自身が災害への意識を高くもつことは重要であるが、学校では、学生の安全が最優先である。</p>

	<p>ターの更新を行い、教材の整備ができた。</p> <p>現在、オンライン授業に対応するためのWi-Fi環境整備についても検討している。</p> <p>災害発生時は母体病院と連携し、災害対策本部を立ち上げ、防災に対する危機管理体制を整備している。学生の安否確認方法として、学年LINEの整備、メールによる連絡方法の体制も整備した。</p>	
VII 学生の受け入れ 募集 (小項目3項目)	評価3.7	評価4.0
	<p>学生募集活動として、学校説明会・推薦指定校進路担当者懇談会・高校訪問進路説明会を計画し、感染予防対策を取りながら実施している。</p> <p>入試に関してはHPに募集要項を掲載し、いつでも確認ができるようにした。また、公募推薦の導入や一般入学試験を2期制にし、学生募集数の確保に向けて取り組んでいる。</p>	<p>適正に募集活動が行われている。今年度は、インターネットでの学校説明会などの実施も必要と考える。</p>
VIII 財務 (小項目4項目)	評価3.5	評価3.5
	<p>今年度については、covid-19による感染防止対策としてのオンライン授業導入費、対面授業における3密対策としての教室環境整備費などの環境整備が必要となっている。</p> <p>今後も感染防止対策は継続すると考えられることから、オンライン授業と対面授業の併用に向けた教育環境を整備する必要がある。</p> <p>財務監査については年1回国立病院機構関東信越グループが会計監査に入っており適切に行われている。また、月次決算について報告を受けている。</p>	<p>経費削減、助成金確保などの努力をしている。実習委託費の値上げはやむを得ないものと思われる。</p> <p>経済的困窮の学生も存在すると考えられるため、国立の学校として授業料の値上げ等は極力避けていただければと思う。</p> <p>会計監査、財務の情報公開については適正に行われている。</p>
IX 法令の遵守 (小項目5項目)	評価3.8	評価3.8
	<p>新型コロナウイルス感染による自宅学習や学内実習への変更について、千葉県を通して周知される文部科学省・厚生労働省より示される学習内容・方法を遵守し実施している</p> <p>新型コロナウイルス感染予防対策の一環として、学年でのLINEを整備したこと、教員のメールアドレスを周知したことで、学生とのコミュニケーションツールが増え意見を伝えやすい環境を整えた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策としてコミュニケーションツールを増やし、積極的に取り組みがされている。学生が意見を言えるように教員からアンケートを取るなどの対応を期待する。</p>
X 社会貢献・地域 貢献 (小項目3項目)	評価3.3	評価3
	<p>例年実施していた公開講座や高校生を対象としたインターンシップは、新型コロナウイルス感染予防対策として中止した。</p> <p>次年度は、感染予防対策をとりながら実施できる方法を検討していく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策として中止は適切である。今後コロナ感染症に影響することのないWEBなどを活用した貢献方法を期待する。</p>

令和2年度 学校評価

1. 学校関係者評価会議総評（最終評価）

学校関係者評価会議結果（最終評価）

1. 質の高い学生の確保

質の高い学生の確保に向けて、入学試験体制を見直し応募者を確保する、当校の強みをアピールした学生募集活動を展開するという2つの方針に沿った活動が行われた。今年度は、試験体制の見直しが行われ2回目の入試となり、一般入学試験応募者数が129名で前年度と比較すると143%の増加となったことは、当校の強みをアピールした学校パンフレットの作成や人数制限をしてターゲットを絞り、密を避けて工夫した説明会を実施した成果であったと評価できる。

今後は、入学試験体制を見直し後のこれまでの志願者の動向を分析し、オープンキャンパスの方法やパンフレットなどをさらに充実させ、受験生に対する当校への関心を高める。また、経年的に入試区分別に卒業時までの成績や退学者の状況、国家試験合格率などを分析していくことも必要と考える。

2. 学校経営基盤の安定化

今年度は、COVID-19感染予防対策のために、教室内の教材整備のための予定外の経費増加であったが、電力使用量、電気量、コピー用紙印刷枚数などが昨年より減少しており、エコ活動を通じた経費節減の実施の成果であったと評価できる。

引き続き日々の業務の中で経費削減に努め、学生への意識啓発も行い、経営基盤の安定化に繋げていく努力を継続していただきたい。

3. 教育内容の質の向上

COVID-19の影響で予定していた講義や臨地実習の変更を余儀なくされたが、ビデオオンデマンドによる講義を迅速に実施、また、感染対策を取り入れた臨地実習方法を工夫して実施し、教育内容の質の維持に努力されていた。教育内容の質の向上の今年度の方針の国家試験合格率の向上に向けては、年間計画立案と学生個々のレベルに合わせた支援を実施することであり、実際に丁寧な支援を実施した。そして、1年生にアクティブラーニングを取り入れたことは、机上での学習が実際にどのように繋がっているのかを認識する機会になり、看護への関心や学習意欲向上に期待できる。

COVID-19の影響でオンデマンドなどの導入は大変でしたが、教育方法の一つとして活用してさらに教育の質向上に活かしていただきたい。

4. 教員の教育力・管理能力の向上

今年度は、COVID-19の影響でオンデマンドなどの導入において、教育方法に教員間の差が出ないように学習会を開催するなど、教育の質の維持に努力されていた。

COVID-19の影響で仕事量が増えているが、講習会等の講師を担うことは、自身の日頃の教育を振り返る機会ともなり教育力の向上が期待できる。今後も看護教育界のためにも尽力いただきたい。

2. 学校評価結果概要

評価基準 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

評価項目	自己評価	学校関係者評価
I 教育理念・目標 (小項目5項目)	<p>評価3. 8</p> <p>国立病院機構本部（以後、本部）より、中長期的な視点にたった学校評価の基準が示され、効率的・効果的な学校運営方針・活動内容について本部と協議している。</p> <p>現状においては、本校の特徴である①恵まれた実習施設、②看護実践者を育成する特徴ある科目設定などを社会にアピールすることで大学との差別化を図りたい。</p> <p>また、社会入学試験制度を設けていることも社会のニーズである学ぶ機会の拡大について役割を果たしていると考えている。</p> <p>学生には学生の学習指針になるよう具体的で実現可能なものとして文章化し、学生便覧・教育便覧に記述している。</p> <p>学生には入学時新生オリエンテーション、実習オリエンテーション、就職についてのオリエンテーションなどで必要に応じて説明を行っている。</p> <p>保護者には、入学式、戴帽式、卒業式に保護者会を開催し意見交換を行っている。また3年間と通じて学年担任が保護者からの相談窓口として対応するなど学校と保護者の連絡体制の強化を図っている。</p> <p>なお、今年度はCOVID-19の影響により、入学式・戴帽式での保護者会を開催できていないことから、学生の状況に応じて保護者と連携を図っている。</p>	<p>評価3. 8</p> <p>国立病院機構が社会で果たすべき機能・役割を踏まえ、看護職育成に努めている。大学との差別化を図るために恵まれた実習施設と看護実践者育成のための科目設定は重要で、アピールすることができていた。</p> <p>COVID-19の影響により学生・保護者へは対面で周知が難しい状況にある。学生の状況に応じた対応を図っていることは適切である。さらに、ホームページなどを利用して周知していくことも必要と考えます。</p>
II 学校運営 (小項目8項目)	<p>評価3. 7</p> <p>設置者の指針に沿った組織体制をとり、毎年、設置者および病院運営方針に則って学校の運営方針を定めている。</p> <p>教育活動に関する情報公開は、「高等教育就学支援新制度」の学校要件に見合った情報公開を行っている。</p> <p>業務を集約し、ワーキンググループ活動に変更したことや、HOSPnetの導入により、教職員への連絡等情報提供はメール等を活用するなど、業務の効率化を図っている。</p>	<p>評価3. 7</p> <p>適切に策定されている。</p> <p>情報は適正に公開されている。</p> <p>COVID-19の影響による実習や講義の調整も行っていた。</p> <p>ネットワークの整備やWEB会議を実施し、業務の効率化が図られている。時間外勤務の削減に向けた意識を持ち続けて、引き続き努力をしていただきたい。</p>
III 教育活動 (小項目16項目)	<p>評価3. 7</p> <p>学校評価プロジェクトチームが活動を開始し、令和2年度学校目標アクションプランに基づき取り組んでいる。また昨年度後期からアクティブラーニングプロジェクトが学習方法を検討している。運営会議、教員会議、実習指導者会議などで随時計画実践報告を行っている。</p> <p>今年度はCOVID-19の影響で、ビデオオンデマンド（以下VOD）による講義を導入した。導入に当たっては教員間でアクティブラーニング学習会を開催し、VOD講義に教員による</p>	<p>評価3. 8</p> <p>COVID-19の影響によりオンデマンドの講義を取り入れたことはメリットもあり、教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされていた。臨地実習ができないことにより、シミュレーション教育を取り入れ実践に近い設定は行っていた。また、3密を避ける方法として、昼休みや放課後を利用して学習時間の確保に努力されていた。</p>

	差が出ないよう教員の教育の方向性や教育方法を統一させた。オンライン授業の内容、回数は学生に早期に提示し、方法を説明したことにより学生も現段階では主体的に取り組んでいる。	
IV 学修成果 (小項目5項目)	評価3.2 1年生に対し基礎看護学実習Iのオリエンテーションとして県内3施設(千葉・千葉東・下志津)副看護部長より説明を行い、県内施設のイメージ化を図れるようにした。 国家試験対策を4月から実施し、定期的な模擬試験の結果から抽出した強化メンバーを中心にオンデマンドを活用した国家試験対策を実施した。また、担当教員を決定し、学習計画や学習方法について学生の状況に合わせた指導・助言を行った。	評価3.4 COVID-19による影響からオンデマンドや副看護部長からの説明会を急遽実施し、就職率の向上に向けた取り組みが行われている。 国家試験合格のための取り組みは行われ、学生の状況に合わせた指導を実施していた。
V 学生支援 (小項目10項目)	評価3.8 キャリア支援プロジェクトチームを中心に進路・就職に関する支援の企画を立案し運営している。取り組み内容としては、初學者教育、進学・就職支援・卒業生支援である。各学年では、就職・進学に対しての面接等を行い、本人の意志を尊重し適正に就職に関して支援が行えるようにしている。今年度はCOVID-19感染予防のため、Webを用いて小論文対策と面接対策の講義を配信し、希望者には個別対応を行い就職試験に臨んだ。第一希望で内定が下りなかった場合は、その都度学生と面談を行った。令和2年度の就職率は、NH0病院への就職72.2%、千葉県内就職89.9%である。 例年採用試験の早期実施への対策として、2年次後期に県内NH0病院の説明会と小論文対策の講義を計画している。今年度も2月に実施予定であり、映像やWebを活用しての実施を検討している。また、看護の実際の体験が少ない時期での就職活動が余儀なくされているため、母体病院以外の国立病院機構3施設でのジョブシャドウの実施を検討している。	評価3.9 適切に進路・就職に関する支援体制は整備されている。 実際の看護体験が少ない学生の就職活動に対するサポートを検討し、努力されている。
VI 教育環境 (小項目3項目)	評価3.3 図書費、学生関連費の考え方については学習、教育の充実を考慮し、年間計画を立てて購入している。新校舎になり10年以上が経ち学校設備に不備が生じてきているが、授業への支障や学生の怪我に繋がらないよう早めに対処すると共に、丁寧に適切に使用するよう学生へも協力を得ている。 COVID-19の感染防止対策として、三密を避けるため1教室あたりの人数を半減とした。そのため合同授業が実施できるように、教室間をつないでリモート授業ができるよう、ケーブル、マイク等の整備を行った。また、全教室の講師用PC、視聴覚室の大型プロジェクター、シュレッダーの更新を行い、教材の整備ができた。 後期は、更なるCOVID-19により同時双方向授業に対応するための環境整備も行っている	評価3.3 適切に整備されている。COVID-19感染防止対策に向けて迅速に対応していただいた。 看護教育に必要な施設は充実されている。

	図書室の資料検索システムがOPACとして公開され、学外からでもPC/スマートフォンでも資料検索できるようになり、学生の学習環境として整備できつつある。	
VII 学生の受け入れ 募集 (小項目3項目)	評価4.0 学生募集活動として、学校説明会・推薦指定校進路担当者懇談会・高校訪問進路説明会を行っている。受験に関しては、HPに募集要項を掲載し、いつでも確認ができるようにした。また、公募推薦の導入や一般入学試験を2期性にし、学生募集数の確保に向けて取り組んでいる。しかし、今年度はCOVID-19の影響により通常の学校説明会の実施が困難であったため、人数制限を設け、推薦指定校高等学校や入学実績のある高等学校に案内を出し、ターゲットを絞り開催した。当日は密を避けるために、オープンキャンパス形式を取り、映像を用いて繰り返し閲覧してもらい、当日の運営人数も最小限にできるよう工夫した。今年度は合計5回学校説明会を開催した。入学試験日程を2日(A日程・B日程)に設けて実施した影響もあり、令和2年度の一般入学試験応募者数は前年度と比較すると143%の増加となった。	評価4.0 適正に募集活動が行われていた。一般入学試験応募者数が例年と比べて143%の増加となったことはターゲットを絞った効果であったと考える。引き続き適正に積極的な活動を期待する。
VIII 財務 (小項目4項目)	評価3.5 今年度については、COVID-19による感染防止対策としてのオンライン授業導入費、対面授業における3密対策としての教室環境整備費などの環境整備が必要となっている。 また、臨地実習が困難な科目についての学習補完のためのシミュレーター等のレンタル費用にかかる経費増も大きい。 財務監査については年1回国立病院機構関東信越グループが会計監査に入っており適切に行われている。また、月次決算について報告を受けている。	評価3.5 経費削減、助成金確保などの努力をしている。実習委託費の値上げはやむを得ないものと思われる。 新型コロナウイルス感染症予防対策のための整備費用は引き続き必要であると思われる。
IX 法令の遵守 (小項目5項目)	評価3.8 指定規則を遵守し、構成されている。 職員に対しては国立病院機構の個人情報の管理規程、倫理規程に基づき対策を行っている。また、学生に対しては学生便覧、実習要項等に明記されその都度指導を行っている。 学内実習・自宅学習を実施するにあたり、実習記録を毎日持ち帰るよう変更した。変更にあたり、千葉医療センター個人情報取り扱いの規定に則った申請書等を作成し、運用している。今後も継続して個人情報管理が行えるよう随時学生への説明・確認を行っていく。	評価3.8 個人情報の保護については、教職員、学生ともに情報管理対策がとられていた。最近、学生が実習場所の特定につながるような情報(文章・画像)をインターネット上に公表することがあるため、常に注意喚起を行う必要がある。
X 社会貢献・地域 貢献 (小項目3項目)	評価3.3 例年実施していた公開講座や高校生を対象としたインターンシップは、新型コロナウイルス感染予防対策として中止した。 次年度は、感染予防対策をとりながら実施できる方法を検討していく。	評価3 新型コロナウイルス感染症予防対策として中止は適切である。今後コロナ感染症に影響することのないWEBなどを活用した貢献方法を期待する。